

2010年5月21日

ガルデルマ株式会社
塩野義製薬株式会社

尋常性ざ瘡（ニキビ）疾患啓発キャンペーン 2010年5月21日（金）「ニキビの日」から開始

ガルデルマ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：ウンベルト・C・アントゥネス）と塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功）は、本年から登録された「ニキビの日」である2010年5月21日から、TV-CMや屋外広告、ウェブサイトなどを通じて、一般に“ニキビ”と呼ばれている「尋常性ざ瘡」の疾患啓発キャンペーンを全国的に開始します。

ニキビは、日本人の多くが経験し、10～20歳代に多くみられる皮膚疾患で、主に顔面に現れ、痕が残ることがあるなど、患者さまのQOL（Quality of Life、生活の質）に大きな影響を及ぼす疾患です。にもかかわらず、日本では海外諸国と比較して、ニキビ治療のために医療機関を受診する患者さまは、11.8%※と多くありません。皮膚の慢性疾患であるニキビの治療の多くは、スキンケア、一般用医薬品による治療など患者さまご自身の判断に委ねられており、皮膚科で治療すべき疾患としての認知が、患者さまに十分に浸透しているとはいえない状況です。

※林 伸和,他:日皮会誌、111、1347、2001

こういった背景を踏まえ、両社は、本キャンペーンを通じて、ニキビを罹患した患者さまに正しい情報を伝え、一人で悩まず、自己対処で済ませずに積極的に皮膚科医による治療を受けて、QOLをより向上していただくため、啓発活動に取り組んで参ります。

キャンペーンのイメージキャラクターには、タレントの柳原可奈子さんを起用し、TV-CMを始め、様々な形で明るくポジティブなメッセージを発信します。新 TV-CM は、「ニキビひとつで病院」篇と「生活習慣」篇（各15秒）を、本年から登録された「ニキビの日」である2010年5月21日から放映いたします。



キャンペーンロゴ：医療機関を意味する赤色と、ニキビの治療薬を意味する紺色が、ニキビ（英語ではacne）の患者さんを包み込み、QOLの向上に取り組んでいくことを表しています。

【TV-CMの概要について】

- タイトル： ニキビ疾患啓発キャンペーン TV-CM
「ニキビひとつで病院」篇、「生活習慣」篇(各 15 秒)
- 放映開始日： 2010 年 5 月 21 日(金)
- 放送地域： 全国



ニキビ疾患啓発キャンペーン 新 TV-CM

【キャンペーンサイト ニキビは皮膚科へ.JP について】

- 目的： 患者さまに対して、ニキビやニキビ治療への理解促進を行い、皮膚科受診を促します。また薬を処方された患者さまに対しては薬及び治療への正しい理解促進を行います。
- サイトの特徴： キャンペーンキャラクター柳原可奈子さんのニキビ理解度チェックや病院検索ページなどニキビに関する啓発情報を掲載します。
- 開始日： 2010 年 5 月 21 日(金)～
【PC版】ニキビは皮膚科へ.jp : <http://www.nikibi-hifuka.jp/>
【携帯版】ニキビは皮膚科へ.jp: <http://www.nikibi-hifuka.jp/m/>

【ニキビの日、5月21日について】

ニキビは長い間「青春のシンボル」として捉えられ、疾患としての認識が低いものでした。しかし、ニキビは顔にできることが多いため、悩む人は多くいます。皮脂の分泌が多くなる夏場は特にニキビに注意が必要です。本格的な夏を前に、「ニキビは皮膚科で治療すべき疾患であること」を認知いただくため、2010年より5月21日を「ニキビの日」としました。「5(いつも) 2(にきびは) 1(ひふかへ)」 = “いつもニキビは皮膚科へ” の語呂あわせです(英語ではACNE DAY)。

【尋常性ざ瘡(ニキビ)について】

顔面などの脂腺性毛包にできる慢性の皮膚疾患であり、初期の非炎症性皮疹(面ぼう)とそこから進展した炎症性皮疹が混在しています。顔面に好発し、癬痕形成につながるほど重症化する恐れもあるため、心理的な影響の大きい疾患であると報告されており、皮膚科での正確な診断に基づいた適切な治療法を必要とします。ざ瘡にはいくつかの種類がありますが、最も多くみられるのは、尋常性ざ瘡です

【尋常性ざ瘡(ニキビ)治療剤「ディフェリン®ゲル 0.1%」について】

ガルデルマ株式会社は、2008年7月16日、新有効成分アダパレンを含有する外用尋常性ざ瘡(ニキビ)治療剤「ディフェリン®ゲル 0.1%」の製造販売承認を取得しました。本剤は、発売より8年間、塩野義製薬が同剤の独占販売権を保持しています。

ディフェリン®ゲル 0.1%は、レチノイド様作用を有するナフトエ酸誘導体アダパレンを有効成分とする、尋常性ざ瘡(ニキビ)治療の外用剤です。

アダパレンが表皮細胞の核内レチノイン酸受容体(RAR: Retinoic Acid Receptor)に結合し、毛包上皮細胞の分化を抑制することで、ニキビの前段階である微小面皰と非炎症性皮疹(面皰:通称黒ニキビ、白ニキビ)の形成を抑制し、その後進展して出来る炎症性皮疹(通称赤いニキビ)も減少させます。

本剤は、日本で初めて承認された尋常性ざ瘡を適応とする外用レチノイド製剤で、欧米に比べ遅れていたニキビ治療と同水準の治療を提示できる医薬品として注目を集めています。また、2008年9月に財団法人 日本皮膚科学会より発表された「尋常性ざ瘡治療ガイドライン」において、尋常性ざ瘡治療の推奨度 A(行うよう強く推奨する)として認定を受けています。

【ガルデルマ株式会社について】

ガルデルマ社は、世界最大の食品会社ネスレ(スイス)と世界最大の化粧品会社ロレアルグループ(フランス)の50%:50%出資のジョイントベンチャーとして1981年に誕生した、皮膚科学専門のグローバル医薬品企業です。現在、世界で3,000名以上が勤務し、70カ国で製品を販売しています。世界的には、ニキビ、酒さ、爪白癬、乾癬・ステロイド反応性疾患(ステロイドが著効を示す皮膚疾患)、色素異常を中心とした皮膚疾患に対するソリューションを広く提供し、人々の皮膚の健康向上に貢献すべく、事業展開を行っております。また革新的な製品を生み出すために、皮膚科学に特化した研究施設としては世界最大規模であるソフィア・アンテポリス研究開発センター(フランス)を拠点とした研究活動を行っております。全世界で9億7,800万ユーロ(約1,300億円、2009年)の売上(前年比10.8%増)を計上し、持続的成長を目標として研究開発に投資し続けています。

ガルデルマ株式会社は、ガルデルマ社の100%出資の日本法人として1996年に設立されました。

・ウェブサイト:<http://www.galderma.jp>

【塩野義製薬株式会社について】

シオノギは、「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という基本方針のもと、創薬研究開発型企業として、世界中の患者さまやご家族の方々のQOL向上を実現するために、より一層満足度の高い医薬品をお届けすることをミッションとして、医療用医薬品を中心に、OTC医薬品や体外診断用医薬品の研究開発、製造、販売活動を行っています。第3次中期経営計画（2010年4月～2015年3月）におきましては、「SONG for the Real Growth」のスローガンのもと、グローバルな本格的成長を目指して、グループ一丸となって邁進してまいります。

- ・ ウェブサイト:<http://www.shionogi.co.jp/>

＜お問い合わせ先＞

ガルデルマ株式会社
マーケティング本部
TEL:03-5229-6955
FAX:03-5229-6903

塩野義製薬株式会社
【報道機関各位のお問合せ】
広報室 大阪 TEL:06-6209-7885
FAX:06-6229-9596
東京 TEL:03-3406-8164
FAX:03-3406-8099

【医療関係者各位のお問合せ】
医薬情報センター 0120-956-734

【一般各位のお問合せ】
医薬情報センター 0120-501-074